

＼過去、4ヶ月にも渡り入荷待ちも！雨の悲劇を救う“勝負ギア”／

自分史上最高のエンターテイメントを楽しめる「野外フェス特化型靴下」がリニューアル！

～2024年7月5日（金）12時より、公式オンラインサイトにて先行予約販売開始～



“語りたくなる体験をプラスする”ライフスタイルブランド「YOAKE PRODUCTS」を手がける株式会社YOAKE(代表取締役CEO：山田翔大 <https://yoake-tokyo.jp/>) は、この度、過去4ヶ月にも渡り入荷待ちにもなった、**雨の悲劇を救う“勝負ギア”「Waterproof Socks（呼称：ウォータープルーフソックス）」に、銀イオンによる抗菌・防臭加工機能をプラスし、リニューアルすることを発表**いたします。つきましては、2024年7月5日（金）12時より公式オンラインショップにて先行予約販売いたしますので、詳細はP2をご覧ください。

“濡れない、蒸れない”の先へある、**感動体験**をー。

「**野外音楽フェスティバル**」の地形と環境から逆算した、**24時間快適な「フェス特化型靴下」がパワーアップ！**

梅雨明けから本格的に始まるのが、「音楽フェス」や「キャンプ」といったアウトドアイベント！

24時間そして数日にかけて、聴く、歌う、踊る、語り合うなどの時間を楽しむために欠かせないのが、“**足元から始まる、勝負ギア**”であることに気がついた、“野外音楽フェスティバル”偏愛歴10年以上の開発者は、2019年より研究をスタートしました。

その時すでに、雨が降っても“濡れない、蒸れない”という機能を持った防水靴下やシューズカバーは世に出回っていたものの、真夏の炎天下そして山らしい急な土砂降りといった「野外フェス」の洗礼に、それだけでは気持ちが晴れないことが判明。「野外フェス」をこよなく愛するからこそ、不安と不快を全て取っ払い、**自分史上最高のエンターテイメントを楽しめる「フェス特化型」の靴下**を開発することを決意し、年に一度しか訪れない本命の「野外フェス」を通じて実験と改良を重ね、2022年に「Waterproof Socks」が誕生しました。

そこから2年ー。

お客様の声にお応えして、今回新たに銀イオンによる抗菌・防臭加工機能をプラスし、リニューアルを実施。従来比べ90%ニオイをカットするだけでなく、従来人気を博してきた、独自技術の構造により24時間続く「快適性」と、ファッションを邪魔せずタウンユースも可能とする“ロゴなし・モノトーン”の「デザイン性」はそのままに、ローンチすることとなりました。

そして、今も変わらず他社が真似できない技術は、快適へ鍵を握る「3D設計の特殊構造」。

標高1,000m以上の山奥で、1日往復約20km、移動だけで標高差も60m以上の“激しいトレーニング”レベルを想定し、一般的には大雨でも100%水を通さない10,000mm以上の「耐水圧」、そして通気性の指標となる数値は10,000g/m²/24h以上の「透湿性」を靴下を備える傾向にあります。独自研究の末、それ以上に長時間のなだらかな登山や立ちっぱなしによって、体重の負荷がかかる「足」の疲労軽減も見越した“**快適な履き心地**”が**プラスされている**が、「**野外フェス**」を**思いっきり楽しめるかの分かれ道**になることが明らかになりました。

よって「YOAKE PRODUCTS」では開発当初より、某有名ブランドも手がけるアウトドア製品に精通したプロダクトデザイナーとともに、防水フィルム圧着技術で特許取得を持つ工場と専属契約を交わし、高水準の耐水圧と透湿性はもとより、“快適”の感動体験にむけて「靴下の構造」を徹底的に分析。結果、**日本人の足の形にシンデレラフィットする「独自の3D設計」を、特殊な「無圧着加工」によって実現**しました。

それにより、防水靴下を履いた時に生じる“なんか、フィットしない。”や“ウェットスーツのような圧迫感”といった心理的ストレスをクリアするだけでなく、足にフィットせずに生地が浮く“溜まり感”によって、足の指と指の隙間に起こる不快感につながる“蒸れ”を軽減。また、体温を調節するため発汗量の多い「**足の裏**」には、**長さの異なる「パイル生地**」あててことで**クッション性**をもたらす、**体重や熱を分散させることで疲労の軽減や、外は濡れていても足には常にサラッとした清涼感**をもたらす、“魔法のような機能”を搭載できました。

天候が読めないサバイバルな「野外フェス」で、いかに体力消耗せずに“自然と一体となって、音楽を遊び尽くせるか...！！”
雨の日でもころからアウトドアに夢中になれる、“最高傑作のギア”に仕上がりました。



製品名：Waterproof Socks（ウォータープルーフソックス）

価格：¥6,980（税込）

カラー：ブラック/グレー

サイズ：S（21-24cm） / M（22-25cm） / L（26-28cm）男女兼用

素材：表地・裏地…ポリエステル100% 中間層…ポリウレタン100%

▼主な機能性

耐水圧10,000mm以上、透湿性18,000g/m²/24hの完全防水、

銀イオンによる抗菌・防臭加工を採用

[サイトURL]

YOAKE PRODUCTS ECサイト：<https://products.yoake-tokyo.jp/pages/products>

24時間快適な「野外フェス特化型靴下」のポイント！

01 地形や環境など、徹底した「野外フェス」の現地調査を実施

開発者が、山奥で開催された「野外音楽フェスティバル」での豪雨によって靴下が濡れ、体力も気力も奪われ泣く泣くテントに帰ったという、やるせない思いから誕生したプロダクトなだけあって…山の地形や野外フェスでの激しい運動量から逆算した設計に。

年に一度しかない、イベントでの実験を2度も行った、自信作です。



02 日本人の足にシンデレラフィットする、唯一無二の「3D設計の特殊構造」

「YOAKE PRODUCTS」一番こだわったのが、“24時間続く、「快適性」”。海外ブランドではなしえない、日本人ならではの“甲高で幅広”な足型を徹底的に分析し、その形状にシンデレラフィットすることで生まれる、ストレスフリーな履き心地を研究しました。

なかでも多くの防水ソックスが平面設計なため、表地⇄防水フィルム⇄裏地は「熱圧着」での付着が主流な中、開発チームでは均等に熱が入りきらないことによる「防水フィルム」のよれによる“溜まり”、それによって靴下が足にフィットせずに生地が浮くことで、足の指と指の隙間に起こる不快感につながる“蒸れ”を発見しました。

そのため「Waterproof Socks」では、防水フィルム圧着技術で特許取得している工場と専属契約を交わし、“溜まり”ができないように、表地⇄防水フィルム⇄裏地を、真空パックのように付着させる「無圧着」加工を採用。

また、体温を調節するため発汗量の多い「足の裏」には、長さの異なる「パイル生地」あてることでもクッション性をもたらし、体重や熱を分散させることで疲労の軽減や、外は濡れていても足には常にサラッとした清涼感をもたらす、“魔法のような機能”を搭載しました。

02 当之无愧に備えるべき100%の防水と「透湿性」の品質を担保

2年の試行錯誤を重ね、他社製品など全10足以上試し履きをした結果、長時間、長距離を遊び尽くす「野外フェス」だからこそ、濡れない蒸れないだけでは満足できないという結果に…。

しかしながら、まずはお客さまの不安を取っ払うべく、「耐水圧」レベルを、大雨でも100%水を通さない10,000mm以上、24時間激しい運動で汗をかいても蒸れない、高い通気性を示す「透湿性」18,000g/m²/24hを担保し、一目で快適性が伝わる安心感を実現しました。

耐水圧の目安



小雨…300mm

やや強い雨…2,000mm

大雨（本製品）…10,000mm

透湿性の目安



安静時… 2,000g/m²/24h

軽い運動…5,000g/m²/24h

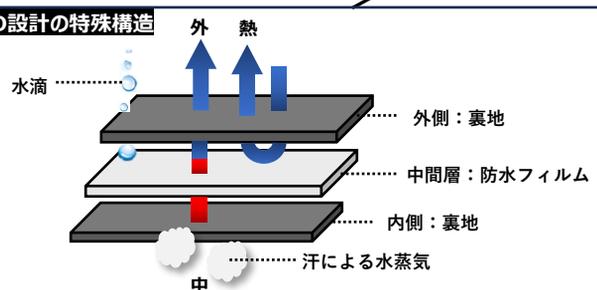
激しい運動…10,000g/m²/24h

本製品… 18,000g/m²/24h

圧着技術について



3D設計の特殊構造



お客様の声

「野外フェス特化型靴下」として愛用する方、「雨の日」の勝負服として、子供との思いがけない「噴水遊び」も安心...！ などなど、活用方法はひとそれぞれ。雨の日が楽しくなったという、嬉しいお声が届いています。

雨の日のキャンプフェスを この靴下+サンダル+レインパンツで 2日間過ごしてみたところ、全く浸水しませんでした。

1日中雨天の野外で過ごしてもこれだけ蒸れずに足のドライさをキープできるのは、この商品が某有名防水・透湿素材を使用したハイカットブーツくらいではないでしょうか。

ハーフパンツ+防水靴下というコーディネートをする場合は、大雨だと履き口から徐々に内側に浸水するかもしれないので、防水靴下を上から覆うようにレギンスを穿くと安心だと感じました。



雨の日に靴の中が濡れるのが嫌！

なので、この不快感を解消できないかと調べている中で、こちらの商品に出会い即購入しました。これまでも防水靴下は興味があって調べてはいたものの、他の類似商品だと柄が入っていたり、丈感がロングで普段使いに向いていなかったりで断念していました。

使用感としては、ちょっと厚手（普段の靴下の2枚分くらい）ですが、個人的にはクッション性があるって歩いていて気持ちいいです。

そして何より、本当に濡れないこと、そのうえで蒸れないことに、感動しました！

今後雨の日には欠かせない靴下になりそうです！



いままでは、安物なせいか結構水が染み込む＆ 汗でムレムレになって不快な状態でした。

乾くのはすぐ早いけど... その不快感＆強烈な臭さをどうにか解消すべく、高い！高過ぎる!!と思ったが、ここで妥協すると結局安物買いの銭失いになるのでは？と考え思い切って買ってみました。結果大正解だと思います。

何度も水中に足を突っ込みましたが全く水が染み込む様子がなく靴下内はサラサラの状態をキープしてくれました
(流石に履き口より高い位置まで波が来たたら入水しますが、それも思った程には入って来ず足先は変わらずサラサラでした。)



届いた商品の品質に感動しています。

感想ですが、私の場合はアウトドアというよりも、普段のお出かけの中で、子どもが突然ちょっとした川や噴水などの水たまりに入り遊びだしても子どもを追いかけて入ってしまったても大丈夫。しかも、その後お店に入っても足元が冷えることもなく...子どもの着替えを持ち歩いても自分の着替えまではなかなか持っていないことが多いので、サンダルにこの靴下さえ履いていれば安心...本当に最高です!! 素敵な商品を作ってください、本当にありがとうございます!! 大ファンです!!!



開発者よりコメント



プロフィール

株式会社YOAKE
代表取締役CEO

山田 翔大 (やまだ しょうた)

「Waterproof Socks」は、僕の音楽フェスでのとある苦い経験から生まれた製品です。何を隠そう、僕は大的フェス好き。毎年行くのが我が家の恒例行事であり、僕にとっては生きがいと言っても過言ではありません。

しかし野外の音楽フェスに行くということは、イコール「天気」との戦いでもあります。夏フェスなので暑さの問題もありますが、何といても問題は「雨」。もちろん、レインポンチョや長靴などで雨対策はしていたものの、足元は雨水がどんどん流れ込んで来ず濡れになった時に痛感したのは、「足元が冷えると、身体が一気に冷え込んで体力も気力も奪われる」ということ。

この経験から着想を得て、商品開発を進めたのですが、既存の防水ソックスは釣り用やスポーツ用として作られているため、フェスやキャンプなどのファッションと合わせにくいデザインや形状だということや、防水ではあるけれど、透湿性が低く、汗で蒸れてしまっただけで足が濡れているように感じる製品もありました。よって念入りな試行錯誤を繰り返し、着想から2年経ってようやく誕生したのが「Waterproof Socks」です。

ありがたいことに、2022年の発売以来、入荷待ちが続くなど着実にご購入いただく方が増えていて、今回更なる「快適性」を目指し、パワーアップしました。「Waterproof Socks」との出会いをきっかけに、雨が降っていることが気にならないくらいフェスやアウトドアを楽しんでもらえたら、それ以上に嬉しいことはありません。

【報道関係者からのお問い合わせ】

インタビュー取材や、「Waterproof Socks」の提供の希望メディア様は、下記の担当者までご連絡ください。

「YOAKE PRODUCTS」広報：小西 / 見角 (TEL: [03-6873-6202](tel:03-6873-6202) / Email: products.contact@yoake-tokyo.jp)